令和7年度行政評価 施策評価票

主管部局・課企画政策部・企画調整課

政策目標3 安心、共生のくらしづくり/政策5 健やかで思いやりのある地域社会の形成

政策分野21 ユニバーサルデザイン

年齢、性別、身体的能力、言語の違いなどにかかわらず、誰もが暮らしやすく、活動しやすいユニバーサル なまち

施策									
施策番号	名称	関連するSDGs17のゴール							
旭 宋甘与	施策の内容								
	ユニバーサルデザインの推進	4 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	10 A中国の不平等	11 住み続けられる まちづくりを				
施策1	「ユニバーサルデザイン推進プラン」に基づき、情報の提供や研修会の開催などにより、広く ユニバーサルデザインの理念の普及促進を図ります。また、様々な分野においてユニバーサル デザインの導入を図ることにより、すべての人にとってやさしく暮らしやすいまちづくりを推 進します。								

1 政策分野の進捗状況

重要業績評価指標の達成状況										
		指標	名		単位	説明又は計算式				
	ユニバーサ	^ト ルデザイン	の認知度		%	ユニバーサルデザインの言葉を知っており、考 え方や意味も知っている人の割合				
1	年度	R5	R6	R7	R8	検証				
	目標	53.0	54.5	56.0	57.5					
	実績	96.5	94.9		_	「ユニバーサルデザイン」という言葉と考え方 は普及している。引き続き啓発に努める。				
	達成率	182%	174%	_	_					

2 施策の評	
施策1	ユニバーサルデザインの推進
	令和4年3月に「第4次会津若松市ユニバーサルデザイン推進プラン」(期間:令和4年度 ~令和8年度)を策定し、「すべての人にやさしく、暮らしやすいまち」の実現を目指して様 々な施策に取り組んでいる。
主な取組状況と成果	【1】ユニバーサルデザインの理念の普及啓発 講演会、ワークショップ、セミナー、子ども向け体験講座、出前講座の開催や、市政モニタ ーアンケートの実施、啓発用パンフレットの配布等により、ユニバーサルデザインの理念の普 及を図っている。また、すべての人に分かりやすい情報発信について、全庁的な取組の指針と なる「UDに配慮した情報発信のポイント集」を策定し、取組を進めている。
	【2】安全、安心、快適なまちづくりの推進 ソフト施策とハード事業をそれぞれ補完するかたちで実施するとともに、各種計画・施策・ 事務事業において全庁的にユニバーサルデザインの理念に基づき取組を進めている。
課題認識と 今後の方針 ・ 改善点	「第4次会津若松市ユニバーサルデザイン推進プラン」に示している各施策・事業を全庁的かつ計画的に推進してきたことから、一定程度ユニバーサルデザインという言葉、視点や考え方は普及してきた。今後は普遍的な理念として位置付け、推進プランの期間終了後は指針に基づいて取り組みを進めていくよう見直しを図る。 引き続き、出前講座や子ども向け体験講座を実施し、ユニバーサルデザインに関する意識啓発や学ぶ場の提供、情報発信を行う。

3 関連する政策分野と事務事業

政策分野	事務事業名	担当部・課名				

4 第7次総合計画の期中総括

○主な成果

- ○主な成果 ・第4次会津若松市ユニバーサルデザイン推進プランを策定し、各種計画・施策・事務事業における全庁的 なユニバーサルデザインの理念に基づいた取組を推進した。 ・また、すべての人に分かりやすい情報発信について、全庁的な取組の指針となる「UDに配慮した情報発 信のポイント集」を策定した。 ・この他、講演会、ワークショップ、セミナー、子ども向け体験講座、出前講座等の開催を通して、市民に 向けたユニバーサルデザインの考え方の理解促進に努めた。

・第4次会津若松市ユニバーサルデザイン推進プランに示している各施策・事業を全庁的に推進してきたことにより、一定程度ユニバーサルデザインという言葉や考え方の普及は進んでいる。一方で、推進プランに掲げる分野によっては、浸透度合いにばらつきがあることから、引き続き各分野における施策の中で取り組んでいく。

5 最終評価

政策分野21「ユニバーサルデザイン」の推進にあたっては、第4次ユニバーサルデザイン推進プランに基づいた取組により、その視点や考え方が普及してきたことから、今後は普遍的な理念として位置付け、同推進プランの期間終了後は指針に基づき取組を進めていく。

6 事務事業一覧

_	ナリハナノ	N 20						
番号	ロジックモデル	主要事業	人口減少対策※	SDGs ターゲ ット	事務事業名	次年度 方針	担当部・課	
施策	1 ユニ	ニバーサ	ナルデサ	げイン σ.)推進			
1				10.2	ユニバーサルデザイン推進事業(ユニバー サルデザイン推進プランの推進)	継続	企画政策部・企画調整課	
2				10.2	ユニバーサルデザイン推進事業(ユニバー サルデザインの理解促進)	継続	企画政策部・企画調整課	

※人口減少対策に資する事業として、「第3期 会津若松市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4つの 基本目標に位置付けた取組を記載しています。 基本目標1 既存産業・資源を活用した魅力的なしごとづくり 基本目標2 地域の個性を活かした新たな人の流れの創出 基本目標3 生活の利便性を実感できる安全・安心なまちづくり 基本目標4 結婚・出産・子育て支援と教育環境の整備

施策1 ユニバーサルデザインの推進								
	事業名	ユニバーサルデザイン推進事業(ユニバーサルデザイン推進)	法定/自主	自主				
1	担当部・課	企画政策部・企画調整課	次年度方針	継続				
		ナジマのしになとして、昔としなけいまとの内	財務内容 単位(千円)	令和7年度(予算)	令和8年度 (見込み)			
	概要 (目的・内容)	すべての人にやさしく、暮らしやすいまちの実現のため、ユニバーサルデザイン推進プランに基づき、各施策・事業を計画的に推進する。	事業費	0	0			
	(HP) P)	基づき、各施策・事業を計画的に推進する。	所要一般財源	0	0			
			概算人件費	475	475			
	取組状況と 成果	市民意識調査・ワークショップ等の実施を経て第 〜令和8年度)を策定し、各種計画・施策・事務 デザインの理念に基づいた取組を推進している。 ・改修計画、地域防災計画、庁舎整備基本計画な デザインの視点が盛り込まれるなど、その重要性	事業における 都市計画マス	ら全庁的なユ スタープラン	ニバーサル や学校改築			
	課題認識と 今後の方針 ・改善点	これまで庁内各所属と連携し、様々な分野において取組を推進してきたことから、一 定程度市民にユニバーサルデザインの視点や必要性が浸透してきた。今後は普遍的な 理念として位置付け、推進プランの期間終了後は指針に基づいて取り組みを進めてい く。						
	事業名	ユニバーサルデザイン推進事業(ユニバーサルデザイン	の理解促進)	法定/自主	自主			
	担当部・課	企画政策部・企画調整課	次年度方針	継続				
	概要 (目的・内容)	ユニバーサルデザインに関する講演会、ワーク ショップ、セミナー、出前講座、子ども向け体 験講座の開催や情報発信等を行い、市民に対し てユニバーサルデザインの理解促進を図る。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)			
			事業費	276	276			
			所要一般財源	120	120			
2		市民や職員を対象とした講演会やワークショップ	概算人件費	1,553 子ども向けん 古来た	1,553			
	取組状況と 成果	学校・市民団体・事業所等に出向く出前講座の開催に加えて、市政モニターアンケートの実施、啓発用パンフレットの配布等によりユニバーサルデザインの理念の普及・啓発を図っている。						
	課題認識と 今後の方針 ・改善点	ユニバーサルデザインの推進のためには、その考 から、引き続き、出前講座や子ども向け体験講座 関する意識啓発や学ぶ場の提供、情報発信を行う	え方に対する を実施し、こ 。	5理解が重要 [*] 1ニバーサル [*]	であること デザインに			